

水源の里だより

「水源の里まいばら」で暮らすことの誇りを 次の世代へと引き継ぐために

私たちが暮らす米原市は、豊かな自然に囲まれ、琵琶湖へと命の水を届ける「水源の里」として、重要な役割を担っている地域です。

その役割と重要性を見つめ直し、米原市の誇るべき魅力として次の世代へと引き継いでいくことは、「水源の里まいばら」を守り続けていく上で、とても大切です。

そこで市は、平成22年度から、「水源の里まいばら」の自然や歴史・文化などについての学びを深める、教育環境づくりに取り組んでいます。

小冊子「水と環」
学校の教科書には載っていない水源の里としての米原の魅力を「水と環」という小冊子にまとめました。市内各地の水にまつわる歴史や文化、暮らしとのつながりなど、大人も読んでびつくりするような、水源の里まいばらの知られざる魅力を、子ども

たちにも楽しく学んでいただける内容で紹介しています。

主人公である一滴の「水」が空から地上に落ち、山から川へ、そして琵琶湖へと旅する中で、米原市の様々な水にまつわる文化や歴史に出会い、その素晴らしいさを学ぶというストーリーで構成しています。



冊子は、市内各小学校や図書館に配置しているほか、各自治会などにも配布しています。夏休みの自由研究に、ぜひご活用ください。

まいばら水探検隊

また「水と環」の制作に当たっては、この冊子を通して「水源の里まいばら」に興味を持ち、少しでも多くの皆さんが実際にそれぞれの場所を訪ね、水の宝を体感いただくことも、狙いのひとつに編集しました。

市では、その実践事業として、平成24年度から現地体験学習会「まいばら水探検隊」を開催しています。

4回シリーズで開催したこの事業には、市内の子どもたちやその保護者、一般の参加者など、延べ80人が隊員となり、伊吹山や霊仙山から湧き出す湧水が、どこへ流れ、どのように活用され、どのような恵みを私たちにもたらしてくれるのかを調べ、市内の各地を探検していただきました。

参加した隊員の皆さんは、市内で暮らしていても、知らなかった水源の里まいばらの誇るべき「水の宝」に驚き、新たな感動を持ち帰っていただきました。

市では今後もこうした取り組みを通じて、水源の里まいばらの素晴らしさを、次の世代へと引き継いでいきたいと考えています。



▲琵琶湖のほとりの集落 世継の湧水「カナボウ」を調査する隊員



▲伊吹山から湧き出す湧水「桶水」を調査する隊員

外側からの視点が気付かせてくれる

「水源の里まいばら」の魅力

第2期みらいづくり隊員

柳生 のびさん (27)

豊かな自然を古里に

第2期みらいづくり隊員の柳生さんは、昨年4月、隊員として神戸市から曲谷へと移り住みました。

これまで子どもたちの野外活動指導や保育・教育関係の仕事に携わってきた柳生さんは、幼少時代を大自然に囲まれた町で過ごしました。そのため、豊かな自然と、その中で暮らす人々の温かさが生きづく水源の里まいばらとの出会いは、言葉に言い表せない、懐かしさを直感するものであったようです。

そして、懐かしさを感じるこのまを自分の古里にしたいと強く思うようになり、隊員への応募を決意したそうです。

伝えたいまいばらの魅力

「移住して一年以上が過ぎましたが、本当に心地よく暮らせていただいています。米原の自然の中になると、自分



「昨年は、多くのことを学ばせて頂きました。」と語る柳生さん。

が生かされていると実感します。」

そう語る柳生さんは、人と自然が一体になる事の素晴らしさや大切さを多くの方々へ伝えたいと考えています。柳生さんが目指すのは、豊かな自然や伝統文化を体験する自然学校の設立です。

「自然の四季に触れること、また、その自然と向き合い、暮らすために、先人から引き継がれてきた知恵や文化を学ぶことは、人が人として生きるためには欠かせない、大切なビタミソミたいなものだと思います。このことは、たとえ都会に暮らしていても忘れてはいけません。」

この1年、野山を歩き、多くの方々と出会い、地域の自然や人々の暮らしに触れてきた中で、改めて水源の里まいばらの素晴らしさを実感したという柳生さん。

普段、何気なく過ごしていると気づきにくいものですが、柳生さんの目には、米原市の持つ大きな可能性が映っているのではないのでしょうか。私たちも、住んでいるまちを見つめ直し、魅力を再発見してみませんか。

新たな魅力発信「伊吹の天窓」

柳生さんもメンバーの一人として参加する伊吹の天窓実行委員会は、米原市出身者や、米原市に移住してきた若手のアーティスト、デザイナーなど、米原市の将来を内外から見つめ、新たな元気をつくりたいと思う若者たちにより結成されました。

今年3年目を迎える「伊吹の天窓」は、水源の里まいばらの魅力を発信し、人と文化をつなぐ取り組みとして、今、大きな注目が寄せられています。昨年は約800人が参加され、新しい感動と魅力を体感いただきました。みなさんもぜひご家族・ご友人とともにご参加ください。

お問い合わせ

政策調整課

水源の里振興担当(伊吹庁舎)

☎58-11121 ☎58-1630

今年も開催!

里おこしイベント「伊吹の天窓2013」

日時：8月10日(土)午後5時開場

会場：奥伊吹スキー場

内容：コンサート&ライトアップ

※チケットの購入など詳しくは伊吹の天窓公式サイトまで

<http://ibukinotenmado.com>

伊吹の天窓2013チケット5組10名様にプレゼント!

応募方法

ハガキに次のことを明記のうえ下記まで。当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。(締切：8月5日必着)

①住所・氏名・電話番号

②伊吹の天窓実行委員会へのメッセージ

〒521-0392 米原市春照490番地1

米原市政策調整課(水源の里振興担当)「伊吹の天窓チケット」係まで



昨年の切り絵テントの作成のようす。今年も約25張の切り絵テントがライトアップされる。